科目名	解剖生理学Ⅲ	講師	非常勤講師
履修時期	1年　前期	単位数	1
		時間	30

＜科目設定理由＞

人間のからだはさまざまな組織や細胞・臓器から成り立ち、それらが正常にはたらくことで恒常性が保たれ生命を維持している。看護師は観察から対象の健康状態を判断し、かただが日常生活行動をどのように行っているのかを理解することが必要である。また、生体の構造や機能を知ることは看護技術を適切に実践するために重要である。
ここでは、食物を摂取して消化吸収し排泄するしくみと体を支えたり動かしたりするしくみの観点から、人体を系統立てて理解し、健康と疾病、障害の理解の基礎を学ぶことを狙いとして科目を設定する。

学習目標	1. 消化管各部の構造と消化・吸収のしくみを理解できる。 2. 骨の基本構造と全身の骨、および骨のはたらきについて理解できる。
学習内容	オリエンテーション 解剖生理学を楽しく学ぶために 授業のすすめ方 1. 栄養の消化と吸収(食物を摂取して消化吸収し排泄するしくみ) 1)口・咽頭・食道の構造と機能 （食欲、咀嚼と嚥下の過程） 2)胃の構造と機能 3)小腸の構造と機能 4)大腸の構造と機能 5)膵臓の構造と機能 6)肝臓と胆嚢の構造と機能 7)栄養素の消化と吸収(糖質・脂肪・蛋白質の消化と吸収) 2. からだの支持と運動(体を支えるしくみ、体を動かすしくみ) 1)骨格とは 2)骨の連結 3)骨格筋 4)体幹の骨格と筋 5)上肢の骨格と筋 6)下肢の骨格と筋 7)頭頚部の骨格と筋 8)筋の収縮
授業形態	講義
評価方法および評価の観点	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　専門基礎1 「解剖生理学」 医学書院
参考資料・図書	授業内で適宜提示する
履修上の留意事項・受講条件	基礎となる分野なので休まずに受講すること